

別記様式

会 議 録

| | |
|----------------|--|
| 会議の名称 | 令和7年度第1回社会教育委員会議 |
| 開催日時 | 令和7年7月3日(木)午後2時00分から午後3時45分まで |
| 開催場所 | 戸田市立教育センター 2階 会議室 |
| 委員長等氏名 | 社会教育委員会議 委員長 宮地孝宜 |
| 出席者氏名 (委員) | 宮地孝宜、佐藤勝巳、板橋哲、阿部央憲、大森雅彦、稲垣茂、大野織絵、 加藤ちあき、熊木保衛、山本学 |
| 欠席者氏名 (委員) | 高松麗子、中村英美 |
| 事務局 | 石橋課長、中沢課長、冨田主幹、安永副主幹、徳永主事、向後主事補 |
| 説明のため 出席した者 | なし |
| 議 事 等 | 報告事項 (1) 令和6年度講座の実施結果について (2) 第5次戸田市生涯学習推進計画進捗状況について 議事 (1) 「戸田市生涯学習推進ビジョン」の策定について (2) 令和7年度社会教育関係団体への補助金交付について |
| 会議結果 | 別紙のとおり |
| 会議の経過 | 別紙のとおり |
| 会議資料 | ・次第及び資料一式 ・戸田市生涯学習情報誌 |
| 議事録確定 | 令和7年7月31日 社会教育委員会議 委員長 宮地 孝宜 |

(会議の経過)

| 発 言 者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-------|--|
| 事務局 | 委員の過半数の出席があり、「戸田市社会教育委員の会議に関する規則」第4条第4項により、会議が成立することを報告申し上げる。 |
| 事務局 | 次第1 開会 次第2 自己紹介 次第3 委員長・副委員長の選任 次第4 諮問書交付 次第5 委員長・副委員長あいさつ 次第6 社会教育委員の活動内容及び戸田市生涯学習推進ビジョンに係るこれまでの振り返り |
| 事務局 | 次第7 これより報告事項及び議事に入る。 議事の進行については、「戸田市社会教育委員の会議に関する規則」第3条第3項に基づき、委員長にお願いする。 ※議事に入る前に傍聴人はいない旨報告。 |
| 委員長 | 資料に基づき報告1について、事務局から説明願いたい。 |
| 事務局 | 報告1 令和6年度講座の実施結果について（報告） 概要：令和6年度の取組成果について説明。 |
| 委員長 | 報告1について、意見・質問等あるか。 |
| 委員長 | 着実に実績を伸ばしているということが分かった。生涯学習課実施の講座に関しても受講者数等は伸びているという理解でよろしいか伺う。 |
| 事務局 | 生涯学習担当にかかる講座についても基本的に令和5年度より令和6年度の参加者数が増えている講座が多い。 |
| 委員全員 | その他質疑等なし。 |
| 委員長 | 報告2について事務局より説明願う。 |

| | |
|------|--|
| 事務局 | 報告2 第5次戸田市生涯学習推進計画進捗状況について 概要：現行の第5次戸田市生涯推進計画の進捗状況について説明。 |
| 委員長 | 報告2について、意見・質問等あるか。 |
| 委員長 | 基本方針1のところではC評価が1事業となっているが、具体的にはどのような事業なのか伺う。 |
| 事務局 | 協働推進課の事業であり、ボランティア・市民活動センターの相談業務において、需給調整の件数が目標を下回ったためC評価となっている。 |
| 委員長 | 生涯学習課が担当している事業以外にも、生涯学習推進に関わる様々な行政セクションが事業を実施していることが分かる。 もう1件、担当者の主観で結構だが、今回の結果を受けて、次期の生涯学習推進ビジョンに注力したい項目等はあるか伺う。 |
| 事務局 | 現行計画ではあくまでも行政の事業実施にとどまっていることから、次期ビジョンにおいては受け手である市民目線の視点も持てるようにしたい。 |
| 委員長 | ビジョン作成にあたっては現行計画を参考にしながらという部分もあるかと思うが、計画とビジョンの違いもあるのでご留意いただきたい。 |
| 委員全員 | その他質疑等なし。 |
| 委員長 | 議事1について事務局より説明願う。 |
| 事務局 | 議事1 「戸田市生涯学習推進ビジョン」の策定について 概要：これまでの会議結果等を踏まえた事務局案の説明 |
| 委員長 | 議題1について、意見・質問等あるか。 |
| 委員 | 前期から参加しているが、非常に見やすく分かりやすくまとめていただいたと思う。見やすく分かりやすいのだが、一般市民が見たときのことを考 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>えると、やはり漢字が多いと感じる。キャッチフレーズの3つの“わ”のように個々の項目についても分かりやすくしていただけるとより見やすくなるかと思う。また、先の話として、ビジョンと実際の活動が結びついていくと戸田市の生涯学習の流れが加速していくと思う。</p> <p>原案はある種、概念なところがあり、実際に市民に対して何をするかまで結びついていくように、という意見だったかと思う。まさにその通りであり、本体のところでは具体例を幾つかあげてはいるが、そこを、より幅広く、そして分かりやすく記載したいと考えている。是非、各委員の意見を頂き反映していきたい。</p> |
| 委員長 | <p>このビジョンは、まずは戸田市の行政に関しては全ての行政セクションにおいて、本ビジョンを参考に、あるいは参酌しながら、事業を計画していくということになる。</p> <p>これは社会教育ビジョンではなく生涯学習推進ビジョンであるのでそのあたりは大事になると思う。</p> |
| 委員 | <p>前回から参加し、すごくまとまっていて感動した。現状と課題、成果のところだが、現行計画と次期ビジョンでは方針の作りが違うと思うが、それぞれの課題は、次期ビジョンについてもそれぞれ割り振られていて、課題への対応が3つの“わ”に、おおむね割り振られるというイメージで良いか伺う。</p> |
| 事務局 | <p>その通りである。現行計画の基本方針1と次期ビジョンの基本方針1では中身は変わっているが、課題等はそれぞれカバーされている。</p> |
| 委員 | <p>書込み過ぎると分かりづらくなることもあるが、前回からのつながりの部分も示せるとより良くなると思った。</p> |
| 委員 | <p>はじめて参加する。様々な事業を実施していることが分かった。戸田市は、稀に見る人口が増えている市で、講座を通して大人同士がつながっていくと良いと思った。市民講座等はリピーターが多いと推察されるので、新たな参加者を呼び寄せるような講座ができるかが重要である。その意味で、このようなビジョンでより分かりやすく市民に示し、進めていけると良</p> |

| | |
|-----|--|
| | い。 |
| 委員 | 前回と比べてすごくよくなった。最近は運動をやる人が少なくなった。もうちょっと増えても良いのと思う。地域を見回してみるとつながりが生まれていないと感じる。ビジョンを上手く普及してもらおうと良い。コンパルに行った際に多くの子供が遊んでいる様子を見た。このような人たちを巻き込み、子供も参加できる講座が実施できたら良いと思う。 |
| 委員長 | スポーツ活動も当然生涯学習の一貫となるので、そのあたりもしっかり考えていきたい。 |
| 委員 | 初めて参加させていただいた。市民大学等の資料を見て、種類も豊富で驚いた。講師の方は戸田市内で探すものなのか伺う。 |
| 事務局 | 講座によって変わる。人材バンク等はスキルを活かしたい市民ということで、戸田市内の方が講師であるが、大学連携講座であれば青山学院大学の教授等の市外の方が講師になっている。 |
| 委員 | 戸田市では市民のサークルが多く、自身も児童合唱団や劇団をやっている。ボランティアセンター等にも登録しているが年々登録者数も増えている。スキルを市民大学等に活かし、講師や補助要員としてでも活用できる機会があると良い。きっかけとしての市民大学が1回きりで終わってしまうのはすごくもったいなく、継続的に続けていくことに意義があると思う。そういったことにつなげられるように戸田市内の団体等と上手く一緒にやれるような形をとっていけると良いと思う。 |
| 委員長 | まさに学びと活動の循環は中教審などでも強調されている。この3つの“わ”についても循環的な視点も必要だと思うが事務局いかがか。 |
| 事務局 | 活かす、活用するという部分は大切だと思っている。3つの“わ”でいうと支えの環が該当する部分である。環という漢字が円環や循環している様子を表している。また、本体の7ページにも、得られた視点として「学びや活動が循環する仕組みづくりをする。」とありこれを基に将来像を設定している。今の意見は大事な視点だと思うので、委員の皆さんの知恵も借 |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>りながら充実させていきたい。</p> <p>前期から参加しているが、綺麗にまとまっており、見習いたいと思った。7ページの生涯学習をもっと身近なものにするというところで、生涯学習という言葉が学びや活動に置き換え、という一文に感動した。概要版にも学びや活動という言葉が入ってはいるが、もっと強調しても良いと思った。6ページのこどもパブリックコメントについて、対象年齢を伺う。</p> |
| 事務局 | <p>昨年度戸田市で実施したもので、対象年齢は18歳以下である。</p> |
| 委員 | <p>子供の生涯学習の認知度が10.3%で低いということだが、自分は、意外と高いと思った。</p> |
| 委員長 | <p>事務局と打合せした際にも申し上げたのだが、生涯学習という言葉の認知度よりも、結果として学んでいるかが大事であって、生涯学習という単語の認知度に余り気を取られなくても良いと思う。ただ、このような形で何か数字を出すとなると、どうしても認知度等は出てきてしまう。なかなかそこが悩ましいところである。</p> |
| 委員 | <p>概要版をより充実させることができると良い。やはり市民の方は本体に詳しく書いても、あまり読んでくれないところもある。何をやる、何ができる等、ある程度概要版にも加筆できると良いと思う。</p> |
| 委員長 | <p>以前から出ていることだが、概要版について、分かりやすく、文字の選び方も含めて、揉んでいければと思う。</p> |
| 委員 | <p>なかなか考えつかないキャッチフレーズなども載せていて凄いと思った。社協の活動でもそうだが、令和5年度、6年度と参加者も増えていて、少しずつコロナ禍から回復して様々な活動が動き出してきていると感じる。社協でも心身障害者センターで障害者向けの講座実施や、ボランティア向けの講座を行っている。継続していくためにどうしたらよいかというのが本ビジョンともつながるところがあると感じている。</p> <p>先ほどボランティアセンターに登録しているという話も出ていたが、様々な学びの場を通して、活動を外に向けていくというときに、社協の場合は</p> |

| | |
|------|---|
| 委員長 | <p>ボランティアセンターに登録していただき、アウトプットに繋げるというハブを持っている。上手く生涯学習課と社協で連携していけると良いと感じた。</p> <p>概要版についてA4の1枚ものにするのか、A3の1枚ものとするかでもまた違うやり方も出てくるなと思った。</p> <p>方針3の知識やスキルを地域に活かしてみる！について、委員からもあったが、生涯学習人材バンクだけではなく、社協のボランティアセンター等、多様な主体と連携していけると良いだろう。</p> |
| 副委員長 | <p>前回まで様々な意見が出て、それを事務局でまとめていただき、非常によくできたと個人的には思っている。</p> <p>特にキャッチフレーズとして“わ”というのを掲げ、学びと市民と支えということで、非常にキャッチフレーズ的には良いものができたと思う。1つ気になったのは、3つの“わ”の真ん中によりよい未来というのがあるが、未来というのが非常に大きく漠然としているイメージである。できれば、よりよい明日へ等もう少し具体的なものが良いと感じた。キャッチフレーズにもあるが、人生を豊かにし、ネットワークをつくり、最終的には地域づくりやまちづくりにつなげようというのが、生涯学習、学びと活動の原点だろうと思う。3つ“わ”で目指すところを、もう少し具体的に表わせたらと思うので、地域の明日や人生の明日、人の明日を目指す、のような一歩先を行くというような視点に落とし込んでいけると良いのかなと思った。</p> <p>概要版を1枚でまとめるというのは非常に難しいが、先ほど漢字が多いのではという意見も出たので整理していけると良い。生涯学習という言葉も、学びや活動という非常に良い言い換えができていたので、それをもうちょっと活かせると良いと思う。先ほどスポーツをやる人が少ないという話もあったので、肉体的な活動、脳の活動等、様々な活動がイメージできるような形で、まとめ上げるということも1つの方策かなと思った。</p> <p>課題としてはビジョンをつくって、それをいかに具体的なものに落とし込むかという点があると思うので、そのあたりもイメージしながらビジョンを考えていくということも、必要かなと感じた。</p> |
| 委員長 | <p>「よりよい」という表現は気になった。よりよいというのは人によって捉</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>え方が違う。今後もう少し分かりやすく踏み込んだものにする方が、良いのかもしれないと感じた。あえてぼやかしても良いが、そこを考える必要もあるのかもしれない。</p> <p>私の方から委員の皆様伺いたい。このビジョンを、例えば学校であるとか、男女共同参画、青少年の教育等、それぞれの立場・視点から見た時に、どのように位置づけことができるだろうか。それぞれの視点から見てどのように映っているか伺う。</p> |
| 委員 | <p>3年程前に引退しており見当違いであったら申し訳ないが、中学校で行っているのは、自分の学びを周りと共に共有し、地域に広げていくということである。この考え方に立つと、似ている部分は多い。自分事をほかの人に広げてくという意味において、非常に親和性がある。</p> |
| 委員長 | <p>本ビジョンが完成したら校長会等に課長が出て、しっかりレクチャーしていただけると良いだろう。</p> |
| 委員 | <p>本校にいる生徒たちの生涯学習という意味では、自分から新たに外へ向かっていき情報を得るとするのは難しい子が多いため、自治体の方から情報が入ってくると、そこから、自分の趣味へ昇華していくかもしれないと思った。そういった意味でも、先ほど委員からあったような、福祉とのつながりから入っていけると、彼らにとっては良いと思った。</p> |
| 委員 | <p>中学生が参加するとなった時に、意外と今の子供は忙しく、新たに何か参加できるかという点、かなり難しいと感じている。学校とのつながりという点でいえば、出前講座等で学校の授業に活かせるようなものがあれば、そこからつながっていくのではないかと。</p> |
| 委員長 | <p>方針3にも関わってくるかもしれないが、出前講座等は、いわゆる地域学校協働活動とも言える部分もあるため、それらをどこかに書き込み、文字として残しておく必要もあるだろう。</p> <p>また障害のある方の生涯学習というのは気になるところで、SDGsの2030年まで後5年しかないが、誰もが学べるというところの対象として、障害の有無や国籍、性別は関係ないというところは、やはり強調していく必要があると感じた。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>男女共同参画に携わらせていただいている身としては、市民の和の所で様々な価値観を知り、認め合い、自他共に成長するという文面が非常に通ずるものがあると感じた。</p> <p>学びや活動を通じてゆるやかなコミュニティーを形成していくことで自分たちの居場所をつくり、みんなが参画していこうというのは男女共同参画社会でも目指すところなので、非常に馴染みがあると思った。</p> |
| 委員 | <p>青少年の教育についても一致する部分があると思う。</p> <p>今の子供が忙しいという話があったが、本当に小学生の時から習い事等で忙しい子供が増えており、その習い事でも、そこにコミュニティーがあるかというところでもなく、あくまで個で、個人が参加していくという形である。青少年のコミュニティーという面を考えていくと何か地域でできることをやっていければ良いと思う。</p> |
| 委員長 | <p>公民館等の課題として、若者の参加率が低いというのがある。若者を社会教育に巻き込んでいながら、青少年教育とも言えるがそうしたつながりをつくっていくというのは、それも一つのビジョンであると思う。</p> |
| 委員 | <p>基本方針2に市民同士でゆるやかにつながってみる！と関連して、現在シルバー人材センターに来ている人にも、これまでの地縁関係ではなく、新しい関係を求めて来ている人も多い。その中でサークルを結成して、好きなことをやっている。多いところで30人、少ないところでは5、6人のところもある。そういう意味で、このゆるやかにつながるといえるのは良いと思った。</p> |
| 委員長 | <p>シルバー人材センターと学校で何か、連携することはあるか伺う。</p> |
| 委員 | <p>連携でいうと、交通安全指導の協力をお願いしている学校もある。</p> <p>前任校では年に1度、感謝の会を開き子供から感謝を伝える機会を設けていた。子供も地域の方にお世話になっているという意識が持てるし、シルバー人材の方も子供と挨拶するだけで元気が出ると言ってくださっていて、お互いにとって良い効果があった。</p> |

| | |
|------|--|
| 委員長 | そういったところはまさに生涯学習であるので、上手くコーディネートしていくっていうところもビジョンとして考えられるところかなと思う。 |
| 委員 | スポーツにしても町会にしても、やはり個人でまとまりがないと感じる。何かつながるきっかけづくりが出来れば良いと思う。 |
| 委員 | 3つの“わ”に関して、学びの輪で広く市民と捉え、子供であっても高齢者であっても、また障害者であっても誰もが学びや活動に挑戦できるという部分と、市民の和で市民が学びや活動を通じたゆるやかなコミュニティーを形成し自分たちの居場所をつくっていくという部分、また、支えの環で地域のために支え合って、みんなで地域のためにいかしていくという部分はまさに、社会福祉協議会でも地域づくりを1つ大きなミッションとしてやっている。そこが社会福祉協議会と大きくつながっていると感じた。市民だけではなく、企業や社協、行政とつながっていくという所が社協に近いと感じた。 |
| 委員長 | <p>学びというのは様々な活動の中にあるものなので、そうした学びを通して共生社会づくりにつなげていくってというのは、これも大変重要なことと思う。</p> <p>個人的に学びに挑戦するっていうところに、例えば学びの継続や、学びの深化、あるいはリカレント教育や学び直しといった言葉が文字として入ると良いと感じた。方針1のところの新たな学び・活動という所を新たな、だけでなく言葉を上手く入れることができると思う。</p> <p>これは中身ではないが、合意形成の過程に教育委員会だけではなく、首長部局も含めると良い。このビジョンが、教育委員会の中だけにとどまらないというところをしっかりと担保できると良いだろう。</p> |
| 委員全員 | その他質疑等なし。 |
| 委員長 | 議事1は承認する。 |
| 委員長 | 議題2について事務局より説明願う。 |
| 事務局 | 議題2 令和7年度社会教育関係団体への補助金交付について |

| | |
|------|--|
| | 概要：令和7年度の社会教育関係団体への補助金交付予定について説明。 |
| 委員長 | 議題2について、意見・質問等あるか。 |
| 委員長 | PTAの方で令和6年の実績がゼロの学校はどういう状況か伺う。 |
| 事務局 | 補助金交付が不要という学校があったため実績がゼロの学校がある。 |
| 委員長 | 申請がなかったということか。今年度はあったのか伺う。 |
| 事務局 | そうである。今年度は申請があった。 |
| 委員長 | なぜ社会教育委員の会議に諮って、意見を求めるかというのと、PTAも含め社会教育関係団体は独立した団体であって、行政等が不当に統制的な支配しないということが原則になっているためである。毎年お金出すことで教育委員会が団体の活動になんらかの統制的支配をしているのではないか、そういう視点でチェックをしていただければと思う。 |
| 副委員長 | レガッタ一般市民出場クルーという項目が幾つかあり、金額が大幅に減っているが何か理由があるか伺う。 |
| 事務局 | 全国各地で開催されており、開催場所に合わせて、旅費等も変動することから金額の増減が生じている。 |
| 委員 | 各小学校区のスポーツ推進スタッフとはどのようなものか伺う。 |
| 事務局 | 各町会のスポーツ委員であり、各小学校区で、グランドゴルフ大会や10月の市民体育祭等をスタッフとして運営している。そのような町会から推薦された方で、市のスポーツ行事に協力いただいている。 |
| 委員全員 | その他質疑等なし。 |
| 委員長 | 議題2は承認する。 |

| | |
|-----|---|
| 委員長 | 次第9 その他について事務局より説明願う。 |
| 事務局 | 次第9 その他 概要：生涯学習課より連絡事項の伝達 |
| 委員長 | 本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局へお返しする。 |
| 事務局 | 次第10 閉会 次回の会議は9月を予定している。 以上で令和7年度第1回戸田市社会教育委員会議を終了する。 閉会／午後3時45分 |